

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 千葉商店は、さきに商品 ¥1,980,000 を36か月の均等分割払いで売り渡していたが、本日、第4回目の割賦金 ¥55,000 を現金で回収した。
- さきに、取引銀行あてに約束手形を振り出して借り入れていた ¥3,000,000 について、支払期日の延期を申し込み、承諾を得た。よって、新しい約束手形を振り出して旧手形と交換した。なお、支払期日の延期にともなう利息 ¥15,000 は現金で支払った。
- 取得原価 ¥600,000 の備品を ¥290,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この備品に対する減価償却累計額は ¥360,000 であり、備品減価償却累計額勘定を用いて間接法で記帳してきた。
- 埼玉商会の本店は、川口支店から本店の広告料 ¥80,000 と所沢支店の広告料 ¥70,000 を支払ったとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- 南東物産株式会社は、決算の結果、当期純損失 ¥240,000 を計上した。
- 茨城商事株式会社は、次の条件で社債を発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、この社債の発行に要した諸費用 ¥580,000 は小切手を振り出して支払い、全額を繰延資産として処理した。

額面総額	¥50,000,000	利率	年2%	利払い	年2回
払込金額	@¥98.40	償還期限	10年		
- 栃木産業株式会社は、法人税・住民税および事業税の確定申告をおこない ¥870,000 を現金で納付した。ただし、未払法人税等勘定の残高が ¥870,000 ある。

2

次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - すでに記入してある取引も転記すること。
 - 総勘定元帳・売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、当座預金出納帳・仕入帳を用いている。

取引

1/月23日 秋田商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの約束手形#6で受け取った。

B品	200個	@¥680	¥136,000
----	------	-------	----------

 25日 山形商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品	300個	@¥700	¥210,000
----	------	-------	----------

 28日 山形商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。

A品	50個	@¥700	¥35,000
----	-----	-------	---------

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 群馬商店(個人企業)の下記の繰越試算表と資料によって、次の金額を計算しなさい。
- 仕入高
 - 期首の資産総額

繰越試算表

平成〇年/2月31日

借方	勘定科目	貸方
680,000	現	
1,320,000	売	
540,000	繰	
430,000	越	
	備	
	買	
	掛	798,000
	借	520,000
	入	1,652,000
	資	1,652,000
	本	
	金	
2,970,000		2,970,000

資料

i 期首の商品	¥ 460,000
ii 期首の負債総額	¥ 1,348,000
iii 期間中の収益および費用	
売上高	¥ 7,650,000
売上原価	5,937,000
営業費	1,290,000
支払利息	13,000
iv 期間中の追加元入額	¥ 140,000
v 期間中の引出金	¥ 80,000

- (2) 青森商店(個人企業)の平成〇年/2月31日における本店および支店の下記資料によって、次の金額を計算しなさい。
- 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額
 - 本支店合併の貸倒引当金
 - 本支店合併の売上総利益

資料

i 元帳勘定残高(一部)

	本店	支店
売掛金	¥ 1,080,000	¥ 930,000
貸倒引当金	14,000	9,000
繰越商品	670,000	380,000
支店本店	700,000 (借方)	620,000 (貸方)
売上	5,840,000	2,290,000
仕入	4,510,000	1,750,000

ii 決算整理事項(一部)

- ① 期末商品棚卸高
 本店 ¥ 820,000
 支店 ¥ 340,000 (未達商品は含まれていない。)
- ② 貸倒引当金
 本店、支店ともに売掛金の期末残高に対して2%とする。

iii 未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥90,000 (原価) が、支店に未達である。
- ② 本店で支店の売掛金 ¥60,000 を回収したが、この通知が支店に未達である。
- ③ 支店で本店の広告料 ¥50,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。

4

神奈川商店の5月27日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

5月27日 横浜商店に商品 ¥280,000 を売り渡し、代金のうち ¥150,000 は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上传票	
売掛金	188,000	当座預金	192,000	川崎商店	336,000
当座預金	253,000	買掛金	209,000	藤沢商店(戻り)	13,000
売掛金	145,000	雑費	24,000	横須賀商店	357,000
受取家賃	47,000	買掛金	116,000	大和商店	298,000
() ()		() ()		() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
買掛金	245,000	当座預金	245,000	鎌倉商店	269,000
当座預金	380,000	売掛金	380,000	三浦商店	345,000
買掛金	126,000	支払手形	126,000	厚木商店(戻し)	17,000
雑費	27,000	当座預金	27,000	相模原商店	168,000
受取手形	200,000	売掛金	200,000	座間商店(値引)	8,000
() ()		() ()		() ()	

5

岩手商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 853,000	当座預金	¥ 2,597,000	受取手形	¥ 1,800,000
売掛金	2,700,000	貸倒引当金	37,000	有価証券	2,440,000
繰越商品	1,670,000	備品	2,100,000	備品減価償却累計額	840,000
支払手形	920,000	買掛金	2,198,000	借入金	1,600,000
従業員預り金	235,000	資本金	7,000,000	売上	20,730,000
受取手数料	83,000	仕入	16,460,000	給料	1,632,000
支払家賃	1,067,000	保険料	140,000	消耗品費	71,000
租税公課	59,000	雑費	54,000		

付記事項

① 本年7月/日に宮城銀行から借り入れた ¥1,600,000 に対する半年分の利息 ¥20,000 が、期日に当座預金から支払われていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥1,710,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ3%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 取得原価 ¥2,100,000 残存価額は零(0) 耐用年数は5年とし、定額法による。
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する盛岡商事株式会社の株式40株(帳簿価額 @¥61,000)であり、1株につき ¥64,000 に評価替えする。
- 消耗品未使用高 ¥ 19,000
- 保険料前払高 保険料のうち ¥108,000 は、本年5月/日に1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 家賃未払高 ¥ 97,000

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

平成○年	勘定科目	摘要	元	売掛金	諸口
		前ページから		486,000	300,000
/ 2/	当座預金	福島商店			250,000
	売掛金	掛 け		50,000	
		C品 400個 @¥750			

当座預金		2
1/1 前期繰越	1,450,000	
受取手形		3
1/1 前期繰越	850,000	
売掛金		4
1/1 前期繰越	640,000	
売 上		19
売掛金元帳		
山形商店		1
1/1 前月繰越	320,000	
福島商店		2
1/1 前月繰越	170,000	

3

(1)	a 仕 入 高	¥	b 期首の資産総額	¥
(2)	a 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額	¥	b 本支店合併の貸倒引当金	¥
			c 本支店合併の売上総利益	¥

試験場校	受験番号

2級の1得点

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年5月27日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 家 賃		
		仕 入 費		
		雑 費		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3) 損 益 計 算 書

岩手商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料	()		
()		受 取 手 数 料	
()		()	
支 払 家 賃		貸 倒 引 当 金 戻 入	
保 険 料			
消 耗 品 費			
租 税 公 課			
雑 費			
()			
()			

貸 借 対 照 表

岩手商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		借 入 金	
貸 倒 引 当 金 ()		従 業 員 預 り 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		資 本 金	
有 価 証 券		()	
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減 価 償 却 累 計 額 ()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級	の2	得点

総 得 点

	借 方	貸 方
a	現金 55,000	割賦売掛金 55,000
b	手形借入金 3,000,000 支払利息 15,000	手形借入金 3,000,000 現金 15,000
c	備品減価償却累計額 360,000 未収金 290,000	備品 600,000 固定資産売却益 50,000
d	広告料 80,000 所沢支店 70,000	川口支店 150,000
e	繰越利益剰余金 240,000	損益 240,000
f	当座預金 49,200,000 社債発行費 580,000	社債 49,200,000 当座預金 580,000
g	未払法人税等 870,000	現金 870,000

2 売上帳

平成〇年	勘定科目	摘要	平	売掛金	諸口
		前ページから		486,000	300,000
/ 2/	当座預金	福島商店 小切手	✓		250,000
	売掛金	掛 け	売2	50,000	
		C品 400個 @¥750			
23	受取手形	秋田商店 約手	3		136,000
		B品 200個 @¥680			
25	売掛金	山形商店 掛 け	売1	210,000	
		A品 300個 @¥700			
28	売掛金	山形商店 掛け戻り	売1	35,000	
		A品 50個 @¥700			
				746,000	686,000
31			4		746,000
"		総売上高	19		1,432,000
"		売上戻り高	19/4		35,000
		純売上高			1,397,000

総勘定元帳

当座預金 2	
1/1 前期繰越	1,450,000
1/1 前期繰越	850,000
23	136,000
1/1 前期繰越	640,000
1/31	35,000
31	746,000
売 掛 金 4	
1/31	35,000
1/31	1,432,000
売 掛 金 元 帳	
山形商店 1	
1/1 前月繰越	320,000
1/28	35,000
25	210,000
福島商店 2	
1/1 前月繰越	170,000
21	50,000

3 (1)

a	仕入高 ¥ 6,017,000	b	期首の資産総額 ¥ 2,530,000
---	-----------------	---	---------------------

(2)

a	支店勘定残高・本店勘定残高の一致額 ¥ 650,000	b	本支店合併の貸倒引当金 ¥ 39,000	c	本支店合併の売上総利益 ¥ 1,980,000
---	-----------------------------	---	----------------------	---	-------------------------

4

仕 訳 集 計 表
平成〇年5月27日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
783,000		現 金		541,000
572,000		当 座 預 金		525,000
200,000		受 取 手 形		
1,271,000		売 掛 金		1,076,000
		支 払 手 形		126,000
721,000		買 掛 金		782,000
13,000		売 上		1,271,000
		受 取 家 賃		47,000
782,000		仕 入		25,000
51,000		雑 費		
4,393,000				4,393,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	支 払 利 息 20,000	当 座 預 金 20,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,670,000	繰 越 商 品 1,670,000
	繰 越 商 品 1,710,000	仕 入 1,710,000
b	貸 倒 引 当 金 37,000	貸 倒 引 当 金 戻 入 37,000
	貸 倒 償 却 135,000	貸 倒 引 当 金 135,000
c	減 価 償 却 費 420,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 420,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 120,000	有 価 証 券 評 価 益 120,000
e	消 耗 品 19,000	消 耗 品 費 19,000
f	前 払 保 険 料 36,000	保 険 料 36,000
g	支 払 家 賃 97,000	未 払 家 賃 97,000

(3) 損 益 計 算 書

岩手商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,670,000	売 上 高	20,730,000
仕 入 高	16,460,000	期 末 商 品 棚 卸 高	1,710,000
売上総利益	4,310,000		
	22,440,000		22,440,000
給 料	1,632,000	(売上総利益)	4,310,000
(貸倒償却)	135,000	受 取 手 数 料	83,000
(減価償却費)	420,000	(有価証券評価益)	120,000
支 払 家 賃	1,164,000	貸 倒 引 当 金 戻 入	37,000
保 険 料	104,000		
消 耗 品 費	52,000		
租 税 公 課	59,000		
雑 費	54,000		
(支 払 利 息)	20,000		
(当期純利益)	910,000		
	4,550,000		4,550,000

貸 借 対 照 表

岩手商店

平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金	853,000	支 払 手 形	920,000
当 座 預 金	2,577,000	買 掛 金	2,198,000
受 取 手 形 (1,800,000)		借 入 金	1,600,000
貸 倒 引 当 金 (54,000)	1,746,000	従 業 員 預 り 金	235,000
売 掛 金 (2,700,000)		(未 払 家 賃)	97,000
貸 倒 引 当 金 (81,000)	2,619,000	資 本 金	7,000,000
有 価 証 券	2,560,000	(当 期 純 利 益)	910,000
商 品	1,710,000		
(消 耗 品)	19,000		
(前 払 保 険 料)	36,000		
備 品 (2,100,000)			
減 価 償 却 累 計 額 (1,260,000)	840,000		
	12,960,000		12,960,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)